



カニの種類がちがうと、足の数がちがうの

カニの足の数は本当は何本

おうちの方がカニを買ってきたとき、カニの足の数を数えてみたことがありますか。カニは、ふつう、はさみがついた足が左右で2本、残りの歩く足が左右に4本ずつの8本です。ところが、歩く足が2本少ない、6本足のカニがいます。タラバガニやハナサキガニがそうです。

ヤドカリの足は4本

動物を仲間分けしたとき、カニは、ヤドカリとは近い仲間です。ヤドカリは、祖先が8本もっていた歩く足のうちの4本が、退化してだんだん短くなり、今では、カイの殻を背おっているときの支えに使っています。このヤドカリの仲間から、カイの殻を背おうのをやめて、カニのような形に進化してきたものがあります。これが、じつは、タラバガニやハナサキガニなのです。

カニよりヤドカリに近い仲間

ヤドカリの仲間の退化した足のうちの2本は、タラバガニなどではさらに退化して、腹側にかくれていて見えなくなっています。ハナサキガニやタラバガニは、本当はカニではなくヤドカリの仲間で、歩く足は6本なのです。（監修・杉浦 宏）

